



データあり

 令和元年 11 月 1 日

市政記者クラブ 様

東 山 総 合 公 園
 担 当 動 物 園 今 西 ・ 江 口
 電 話 7 8 2 - 2 1 1 1
 (5 園 館 同 時 発 表)

ツシマヤマネコの移動があります

環境省によるツシマヤマネコ保護増殖事業により、ツシマヤマネコの移動がありますので、下記のとおりお知らせします。今回の移動完了後、東山動植物園で飼育するツシマヤマネコは4頭になります。

なお、本件は西海国立公園九十九島動植物園、福岡市動物園、京都市動物園、よこはま動物園と同時発表しています。

記

1 来園するツシマヤマネコについて

(1) 個体情報

| 血統登録番号 | 性別 | 生年月日 | 出生地 (転入元) |
|--------------------|----|------------|-----------|
| No. 83 (愛称 勇希) | オス | 2017年5月11日 | 京都市動物園 |
| No. 89 (愛称 レイラ) | メス | 2019年4月15日 | 福岡市動物園 |

(2) 来園予定日

令和元年 11 月 14 日 (2 頭ともに)

(3) 来園理由

環境省が決定した「令和元年-2年ツシマヤマネコ飼育下繁殖計画」において、東山動植物園で繁殖または展示を目的として飼育することとなったため。

2 転出するツシマヤマネコについて

(1) 個体情報

| 血統登録番号 | 性別 | 生年月日 | 出生地 | 転出先 |
|-------------------|----|-----------|--------|----------|
| No. 39 (愛称 もも) | メス | 2006年4月1日 | 福岡市動物園 | 井の頭自然文化園 |

(2) 転出予定日

令和元年 11 月 15 日

(3) 転出理由

環境省が決定した「令和元年-2年ツシマヤマネコ飼育下繁殖計画」において、井の頭自然文化園で展示を目的として飼育することとなったため。

(4) その他

現在この個体は繁殖目的で飼育しているため、展示していません。

3 今後東山動植物園で飼育するツシマヤマネコ

| 血統登録 番号 | 性別 | 生年月日 | 出生地 | 目的 |
|------------|----|------------|--------|-------|
| No. 28 | オス | 2004年4月19日 | 福岡市動物園 | 展示 |
| No. 40 | オス | 2007年5月9日 | 福岡市動物園 | 展示・繁殖 |
| No. 83 | オス | 2017年5月11日 | 京都市動物園 | 展示・繁殖 |
| No. 89 | メス | 2019年4月15日 | 福岡市動物園 | 繁殖 |

- ・網掛けは今回来園する個体です。
- ・繁殖を目的として飼育する場合、原則メスは展示しません。オスは繁殖期以外の展示になります。
- ・No.83は動物の体調等を勘案し、公開日は後日決定してお知らせします。

4 取材等について

- ・ツシマヤマネコ舎は繁殖エリアと展示エリアに分かれており、開園中の展示エリアのみ撮影可能です。展示エリアにいないツシマヤマネコを撮影することはできません。
- ・輸送時の映像については提供可能ですので、ご相談ください。

(参考)

■国内のツシマヤマネコ飼育頭数

9施設 32頭（オス 16頭、メス 16頭）

■ツシマヤマネコについて

長崎県対馬だけに分布する野生のネコであり、ベンガルヤマネコの亜種とされています。生息数は70または100頭程度と絶滅が心配されており、平成6年3月に国内希少野生動物種に指定されました。体長 約50～60cm、体重 約3～5kgの大きさで、体全体の斑点模様、額の縞、耳裏の白斑（虎耳状斑）が特徴です。主に森林に生息していますが、田や畑でネズミやモグラなどを捕食します。絶滅危惧 IA 類（環境省レッドリスト2015）。国の天然記念物。

■写真

来園する個体



No.83（京都市動物園 提供）



No.89(福岡市動物園 提供)

転出する個体



No.39